

第 1 号様式

(第 1 面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒 2 1 6 - 8 5 1 1
住 所 川崎市宮前区菅生 2 丁目 1 6 番 1 号
氏 名 学校法人 聖マリアンナ医科大学
理事長 明 石 勝 也 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第 9 条第 1 項 (同条第 4 項において読み替えて準用する場合を含む。) の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	学校法人 聖マリアンナ医科大学		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市宮前区菅生 2 丁目 1 6 番 1 号		
該当する事業 者の要件	☒ 規則第 4 条第 1 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 2 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 3 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 4 号該当事業者		
	☐ 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の種類	大分類	○	教育, 学習支援業
	中分類	81	学校教育
主たる事業 の内容			
事業者の規模	☒ 原油換算エネルギー使用量		9, 698 k l
	☐ 自動車の台数		台
	☐ エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	施設部 施設環境課
		所在地	川崎市宮前区菅生 2 丁目 1 6 番 1 号
	電話番号		0 4 4 - 9 7 7 - 8 1 1 1
	F A X 番号		0 4 4 - 9 7 7 - 4 9 8 9
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計 画 期 間	平成28年度 ~ 平成30年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

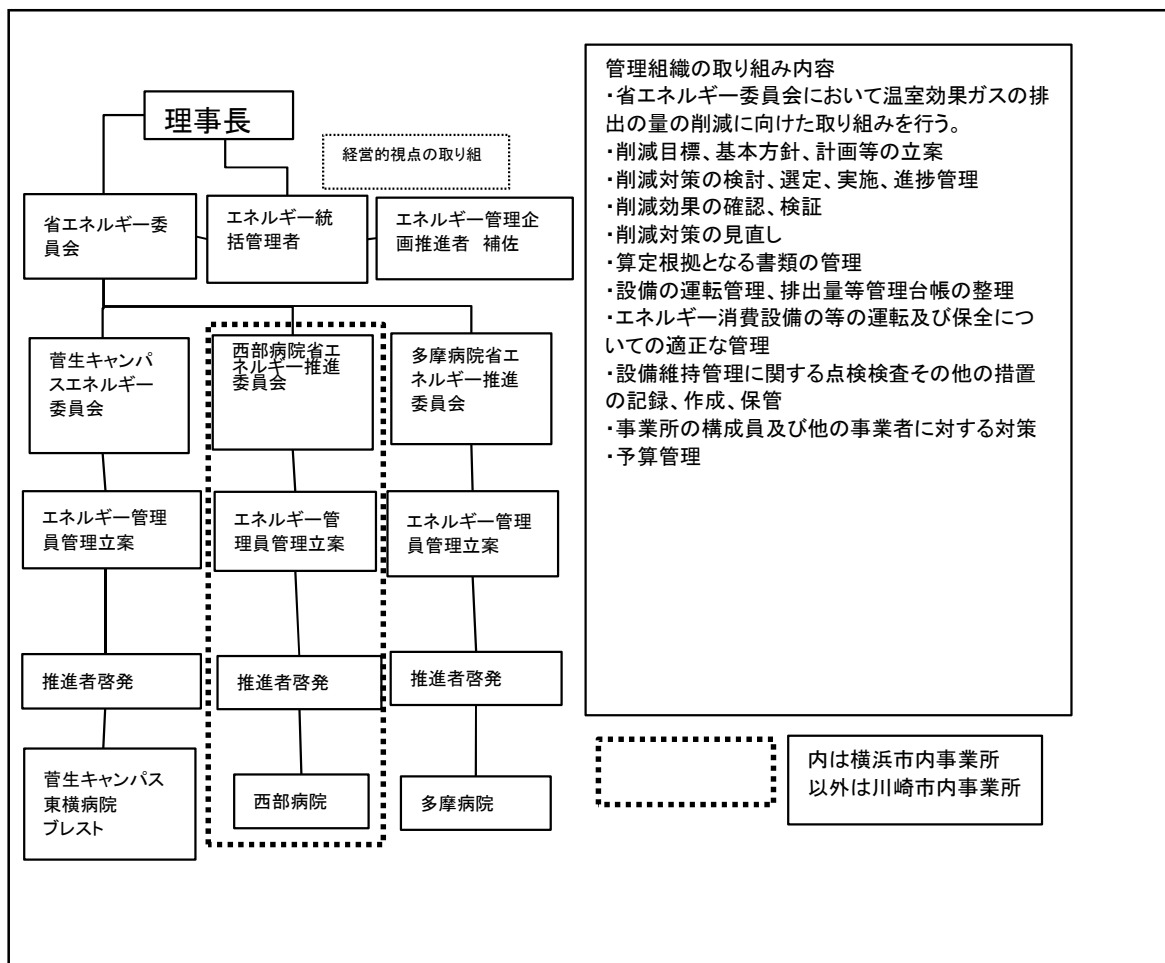
- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

- 1 法人全体基本方針 次の2つの方針より、積極的な地球温暖化対策を進めている。
 (1) 地球温暖化対策に関する取組を組織的に行い、継続的に対策を推進する。
 (2) 目標を明確に定め、温室効果ガス排出量の削減に取り組む。
- 2 市内事業所
 市内に法人があり他の市内事業所（非指定工場）を含む管理を法人全体の基本方針に基づき行っているため特に定めない。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



様式第 1 号

(第 2 面)

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等 (第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量

ア 基準排出量と目標排出量

基 準 年 度	平成 2 7 年度	目 標 年 度	平成 3 0 年度
基 準 排 出 量	(実) 18,308 (調) 18,403 t-CO ₂	目 標 排 出 量	(実) 17,759 (調) 17,851 t-CO ₂
削 減 率	(実) 3.0 (調) 3.0 %	削 減 量	(実) 549 (調) 552 t-CO ₂

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等

原 単 位 の 活 動 量	延床面積	単 位	t-CO2/千㎡
基 準 年 度 の 値	123.3	目 標 年 度 の 値	119.6
削 減 率	3.0 %		
延床面積、生産数量 以外の原単位を使用 した場合の理由			

ウ 目標設定に関する考え方

温室効果ガスの排出量原単位の削減を図るため、排出量原単位の値を年平均で 1 %以上削減することを前提に目標を設定した。
--

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標 (全社目標)

年平均 1 %の削減を目標とする。

5 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の内容

事業所等に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置 (第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)	○照明設備の運用管理 照明器具はLEDランプを計画的に採用する。 ○再生可能エネルギーの導入 ヒートポンプチラー等を採用する。 ○事務用機器 省エネ法に規定する特定機器に該当する場合、基準エネルギー消費効率以上の機器を採用する。 ○空気調和設備 老朽化したターボ冷凍機等の更新を行い、高効率化を図る。
自動車に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置 (第 3 号該当者等)	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用計画及び前年度末における利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

ヒートポンプを利用することにより、空気から熱を吸収することによる温熱供給や、熱を捨てることによる冷熱供給ができる再生可能エネルギー源であるので、空気熱を利用した設備としてヒートポンプ給湯器や空調用ヒートポンプチャラー等を採用する。

イ 再生可能エネルギー源等の利用計画及び利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考
空調用ヒートポンプチャラー	規模：125kw 導入場所：別館 性能：COP4.5	平成24年度	導入済
空調用ヒートポンプチャラー	規模：85kw 導入場所：難治研 性能：COP3.97	平成26年度	導入済

ウ 再生可能エネルギー源等の価値の保有計画及び保有実績

種類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考

(3) 基準年度の末日までに完了した主な対策内容

6 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

なし

7 その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

1. ライトダウンの参加
2. 法人単位でのクールビズの実施
3. CCかわさきに参加
4. 省エネチェックシートの活用
5. 廃棄物の減量化と分別収集を推進

様式第 1 号

(第 7 面)

8 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	18,308	t-CO ₂
(調)	18,403	

イ 第 3 号該当者等

(実)	t-CO ₂
(調)	

(2) 事業所等単位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
学校法人 聖マリアンナ医科大学	川崎市宮前区盲生2丁目16番1号	8161	大学	16,310 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
聖マリアンナ医科大学東横病院	川崎市中原区小杉町3-435	8311	一般病院	1,670 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	1
100kl 未満	

(3) 事業所等単位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--